

平成 22 年度教育学部 FD シンポジウム

(H22 年 12 月 9 日、教育学部会議室、参加者：前半約 50 人、後半約 30 人)

テーマ：「ティーチング・ポートフォリオによる教育改善」

<趣旨>

新しい教育改善の手法として注目されている「ティーチング・ポートフォリオ（教育業績記録）」について理解深めかつ作成の試行により、今後の教育改善の手がかりを得る。

<プログラム>

1. ティーチング・ポートフォリオの概要説明（教育学部：山崎哲司）
2. 教育学部における取り組みについての報告（教育学部：日野克博）
3. 他大学における TP の活用状況についての報告（教育企画室：秦敬治）
4. TP 作成のためのミニワークショップ（教育企画室：秦敬治）



報告場面



実習場面

FD シンポジウムについての主な質問調査項目に対する回答結果

<ティーチング・ポートフォリオ作成の必要性について>

(回答総数 25、未記入 3)

大いに必要	必要	どちらとも言えない	あまり必要ない	必要ない
4	9	8	0	1

<ティーチング・ポートフォリオに関するFDの必要性について>

(回答総数 25、未記入 1)

あったほうがよい	どちらとも言えない	なくてもよい
15	9	0

<ティーチング・ポートフォリオの作成の必要性についての自由記述>

肯定的意見

- 先生のリフレッシュのために必要
- 横文字が苦手なので、いつも戸惑いますが、実際に作業してみるととても面白く取り組むことが出来た。相手の方がとても引き出すことが上手な人だったのでうまくゆきました。メンターの重要性が少しわかりました。自分の理念を作り、自分の理念が大学や学部の目標に役立っているかどうか確認する必要があると思いました。毎回必ず授業記録を残しておく必要があると思いました。
- 義務化する必要はないと思うが、TPによって自分の生き方を肯定的に捉えられるので、大変よいことと思う。
- 個人の授業改善には有効だと思う。
- 既に作成された方のティーチング・ポートフォリオを拝見できてよかった。
- 作る過程に意義があると感じました。今後の教育活動を省察する際のキーワードとして利用できることが分かりました。
- 事実上、全教員が作る必要がある。

中間

- 現行のままでよい。個人の意志に委ねる
- しっかり考えてみたい。
- 教員同士のコミュニケーションになるかどうか次第。
- あれば役立つ人は存在するだろうけど、必要条件ではない。
- 今の段階ではTPの必要性について判断できない。
- 作ってもよいという教員を対象に行うのがよい。
- 強制的に取り入れるのではなく、必要性を伝えていくようにした方がよいと思う。ワークショップでもっと疲弊するかと思っていましたが、楽しく過ごせました。

否定的意見

- 個人としてはポジティブになれる大切なことだと思いますが、今までしてきた学生評価と相反する内容なので、私の場合はものすごく抵抗があります。